

2023年3月期 第3四半期

決算説明資料

2023年3月13日



証券コード
6638



TS330-1600



3DUJ-2207



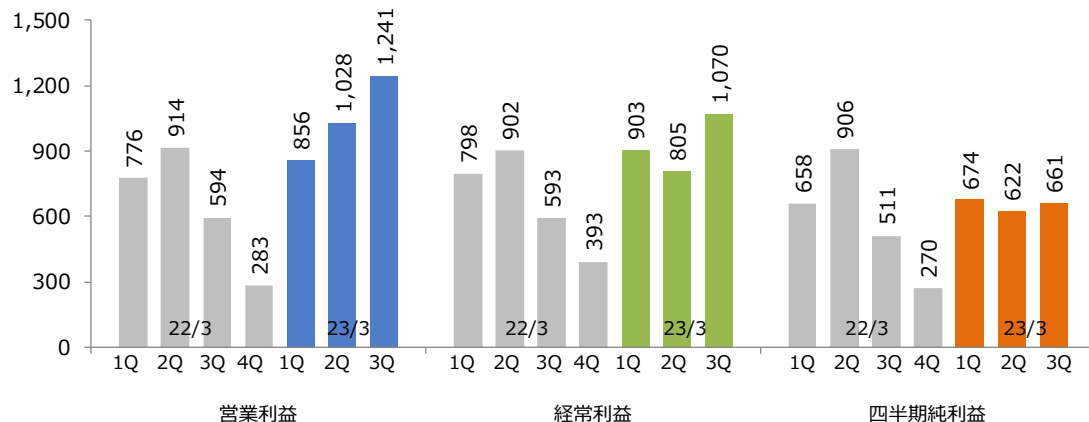
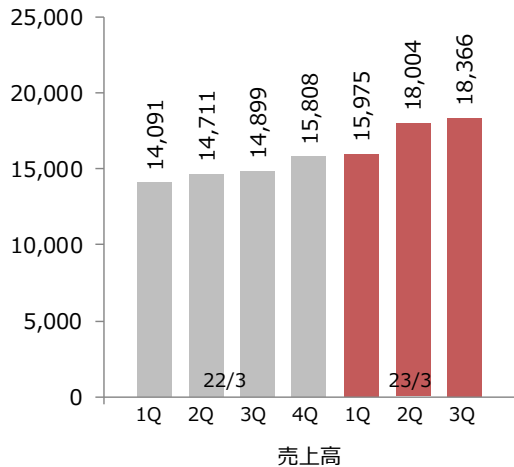
2023年3月期 連結業績

- ❖ 第3四半期実績
- ❖ 2023年3月期 通期予想

連結業績ハイライト (2023年3月期 3Q実績)



	2022年3月期		2023年3月期					
	3Q実績	売上高 比率	3Q実績	売上高 比率	前年同期比増減			
					金額	率	率(除為替)	
(単位：百万円)								
■ 売上高	14,899	-	18,366	-	3,466	23.3%	12.0%	
■ 営業利益	594	4.0%	1,241	6.8%	647	108.9%	-	
■ 経常利益	593	4.0%	1,070	5.8%	477	80.4%	-	
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	511	3.4%	661	3.6%	149	29.3%	-	
為替レート (期中平均)	米ドル 113.71円	-	141.64円	-	27.93円	24.6%	-	
	ユーロ 130.07円	-	144.35円	-	14.28円	11.0%	-	



連結業績のポイント (2023年3月期 3Q)



■ 3Q売上高

- 前年同期比 3,466百万円の増収(+23%、内為替影響+1,683百万円)、前回予想比上振れ
- 上期に引き続き、全般に半導体不足による影響を受けたものの、輸送リードタイム長期化は徐々に解消方向
- ロシア・ウクライナ問題や中国での新型コロナ政策に伴う販売減少等の影響を受けたものの、充実したラインナップのSG市場向け、新製品が好調なIP市場向け、新興国を中心にコロナ禍からの回復需要が旺盛なTA市場向け、いずれの市場でも当社プリンタ本体及びインクへの堅調な需要が継続し、販売が大きく伸長
- 加えて、為替の円安によるプラス効果もあり、大幅増収

■ 3Q営業利益

- 前年同期比 647百万円の増益(+109%、内為替影響+644百万円)、前回予想比上振れ
- 部材調達コストやエネルギーコスト高騰の影響が継続する中で、販売価格の見直しを進めた
- 売上原価率は、物流混乱が解消に向かい輸送コストが徐々に減少、機種ミックスの良化もあり、大幅なコスト増により高水準だった前年同期比で改善。販管費は事業・営業活動の活発化に伴い増加
- これらに、円安によるプラス効果も加わり、大幅増益

■ 3Q末バランスシート

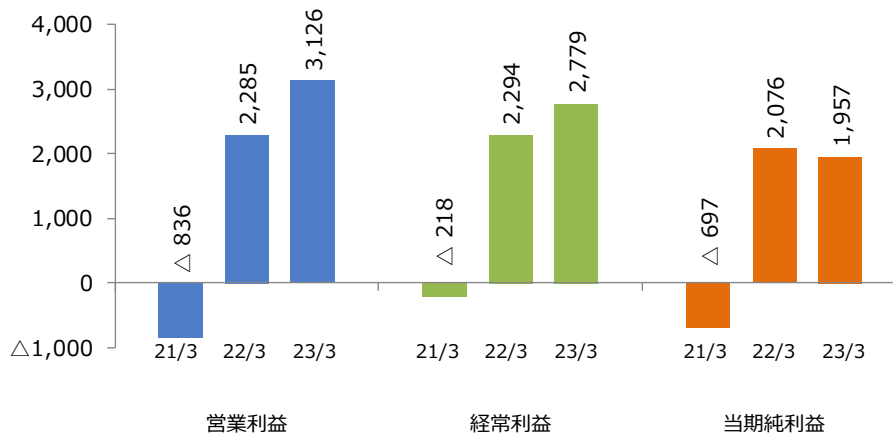
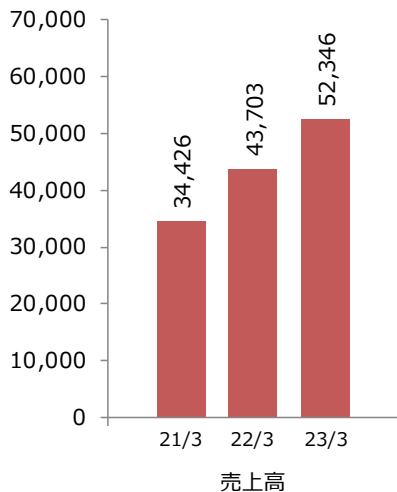
- 重点指標のCCC*は、販売の拡大、売掛債権回収の早期化、在庫削減活動等を進め、前期末比で減少
2021/12/末:4.27月→2022/3/末:5.27月→6/末:5.50月→9/末:5.14月→12/末:4.83月

*CCC : Cash Conversion Cycle

連結業績ハイライト (2023年3月期 3Q累計実績)



(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期				
	3Q累計 実績	売上高 比率	3Q累計 実績	売上高 比率	前年同期比増減		
					金額	率	率(除為替)
■ 売上高	43,703	-	52,346	-	8,643	19.8%	9.9%
■ 営業利益	2,285	5.2%	3,126	6.0%	841	36.8%	-
■ 経常利益	2,294	5.3%	2,779	5.3%	485	21.1%	-
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,076	4.8%	1,957	3.7%	△ 118	△ 5.7%	-
為替レート (期中平均)	米ドル 111.10円	-	136.53円	-	25.43円	22.9%	-
	ユーロ 130.62円	-	140.60円	-	9.98円	7.6%	-



営業利益増減要因

(22/3期 3Q累計 vs 23/3期 3Q累計)



【通貨別影響額】

USD / 111.10円	→ 136.53円	+1,193
EUR / 130.62円	→ 140.60円	+536
CNY / 17.25円	→ 19.88円	△648
TRY / 12.18円	→ 7.86円	△302
BRL / 20.71円	→ 26.55円	+243
その他 (AUD、IDR等)		+397
合計		+1,418

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高 4,314 - 売上原価 1,857 - 販管費 1,038 = 営業利益 1,418

【売上原価率増減要因】

主に部品・原材料及び
輸送費の高騰影響

【販管費増減の要因】

人件費	447
販促費	397
研究開発費	262
旅費交通費	202
支払手数料	108
その他	509
合計	1,925

(単位：百万円)

① 為替影響

② 売上高増減影響

③ 売上原価率
増減影響

④ 販管費増減影響

1,418

1,715

△367

△1,925

2,285

営業利益
(22/3期)

売上原価率
60.4%
↓
61.1%
(+0.7pt)

販管费率
34.4%
↓
35.3%
(+0.9pt)

3,126

営業利益
(23/3期)

営業利益 8億41百万円

市場別売上高 (2023年3月期 3Q実績)



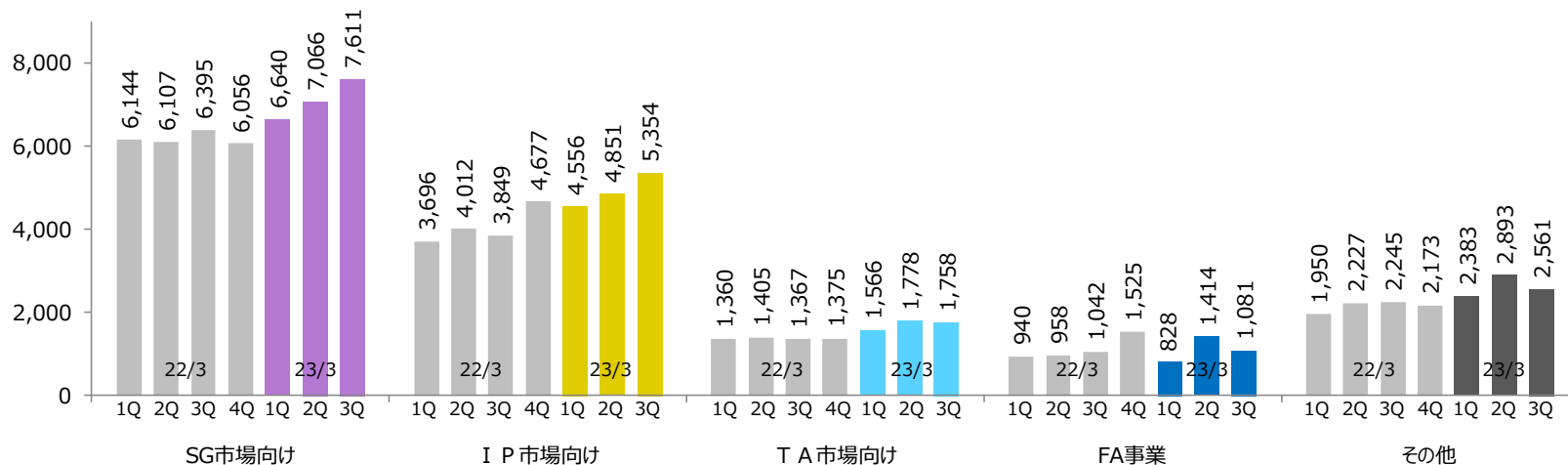
(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期				
	3Q実績	構成比率	3Q実績	前年同期比増減			構成比率
				金額	率	率(除為替)	
■ S G 市場向け	6,395	42.9%	7,611	1,215	19.0%	7.9%	41.4%
■ I P 市場向け	3,849	25.8%	5,354	1,505	39.1%	24.0%	29.2%
■ T A 市場向け	1,367	9.2%	1,758	391	28.6%	18.3%	9.6%
■ F A 事業	1,042	7.0%	1,081	39	3.8%	2.1%	5.9%
■ そ の 他	2,245	15.1%	2,561	315	14.1%	-	13.9%
合計	14,899	100.0%	18,366	3,466	23.3%	12.0%	100.0%

- SG市場向け: 本体は主力のミドルレンジモデルやエントリーモデルの100シリーズ、CG-ARシリーズを中心としたカッティングプロッタが好調、フラグシップモデル新製品も堅調、インクの販売も好調
- IP市場向け : 本体はラインナップを更新した主力の小型フラットベッド機のUJFシリーズが引き続き大幅に伸長、大型フラットベッド機も好調、インクの販売も好調
- TA市場向け : 本体はエントリーモデルTS100が中南米・アジアを中心に引き続き大幅な販売増加、主力のミドルレンジモデルも好調、インクも大幅な販売増加
- FA事業 : 基板検査装置、半導体製造装置、金属加工が堅調な一方、FA装置と基板実装装置が減少

市場別売上高 (2023年3月期 3Q累計実績)



(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期				
	3Q累計 実績	構成比率	3Q累計 実績	前年同期比増減			構成比率
				金額	率	率(除為替)	
■ S G 市場向け	18,647	42.7%	21,318	2,670	14.3%	3.5%	40.7%
■ I P 市場向け	11,558	26.4%	14,762	3,203	27.7%	16.3%	28.2%
■ T A 市場向け	4,133	9.5%	5,103	970	23.5%	11.8%	9.7%
■ F A 事業	2,940	6.7%	3,324	383	13.1%	12.5%	6.4%
■ そ の 他	6,423	14.7%	7,837	1,414	22.0%	-	15.0%
合 計	43,703	100.0%	52,346	8,643	19.8%	9.9%	100.0%



エリア別売上高 (2023年3月期 3Q実績)



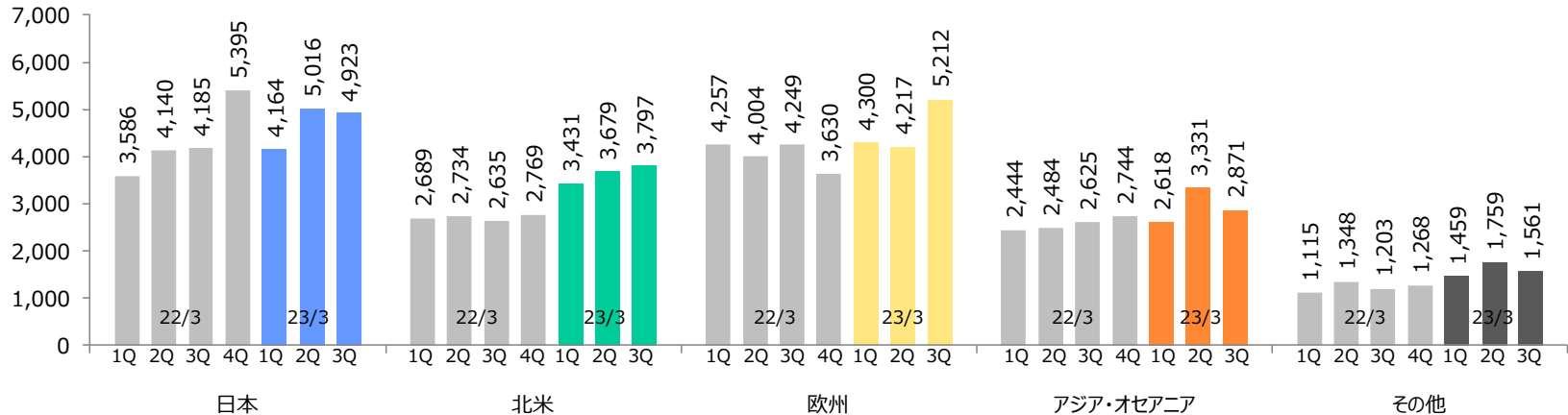
(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期			
	3Q実績	構成比率	3Q実績	前年同期比増減		構成比率
				金額	率	
■ 日本	4,185	28.1%	4,923	738	17.6%	26.8%
■ 北米 (現地通貨/\$)	2,635 23.1M	17.7% -	3,797 26.8M	1,162 3.6M	44.1% 15.7%	20.7% -
■ 欧州 (現地通貨/€)	4,249 32.6M	28.5% -	5,212 36.1M	962 3.4M	22.6% 10.5%	28.4% -
■ アジア・オセアニア	2,625	17.6%	2,871	245	9.4%	15.6%
■ その他	1,203	8.1%	1,561	358	29.8%	8.5%
合計	14,899	100.0%	18,366	3,466	23.3%	100.0%

- 日本: 景気回復が継続する中、SG、IP、TAの各市場向けが大幅な販売増、インクの販売も好調
- 北米: インフレ進行速度が徐々に鈍化する中、IPが小型フラットベッド機・大型フラットベッド機とも好調を維持、SGも主力製品を中心に好調に推移、インク・保守部品の販売も好調、為替の円安効果も寄与
- 欧州: ロシア・ウクライナ問題に伴うマイナス影響は残るものの、ドイツ、イタリア、イギリス、ポルトガル等主要国の殆どで販売が増加、全体ではSG、IPが大幅販売増、TAも堅調、インク需要も底堅く、為替の円安効果も寄与
- A・O: 中国はゼロコロナ政策とその解除に伴う混乱の影響を受け販売が大幅に減少した一方、豪州、フィリピン、タイ、インド等主要国の殆どで販売が増加、全体では好調なSGに加えTAが大幅に販売拡大、インク販売も好調

エリア別売上高 (2023年3月期 3Q累計実績)



(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期			
	3Q累計 実績	構成比率	3Q累計 実績	前年同期比増減		構成比率
				金額	率	
■ 日本	11,911	27.3%	14,105	2,193	18.4%	26.9%
■ 北米 (現地通貨/\$)	8,058	18.4%	10,908	2,849	35.4%	20.8%
■ 欧州 (現地通貨/€)	12,511	28.6%	13,730	1,219	9.7%	26.2%
■ アジア・オセアニア	7,554	17.3%	8,821	1,266	16.8%	16.9%
■ その他	3,666	8.4%	4,780	1,113	30.4%	9.1%
合計	43,703	100.0%	52,346	8,643	19.8%	100.0%



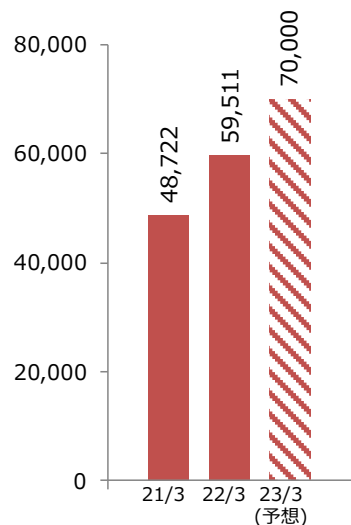
2023年3月期 連結業績

- ❖ 第3四半期実績
- ❖ 2023年3月期 通期予想

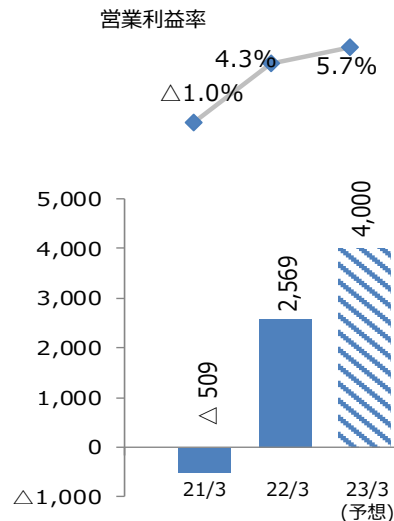
連結業績予想ハイライト (2023年3月期)



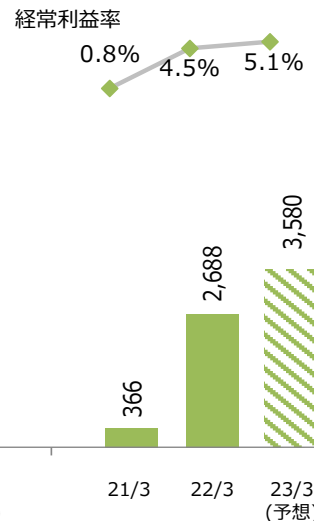
(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期								
	通期実績	売上高 比率	通期 前回予想	売上高 比率	前期比 増減額	通期 修正予想	売上高 比率	前期比増減			前回予想比 増減額
								金額	率	率(除為替)	
■ 売上高	59,511	-	71,800	-	12,288	70,000	-	10,488	17.6%	8.6%	△ 1,800
■ 営業利益	2,569	4.3%	3,420	4.8%	850	4,000	5.7%	1,430	55.7%	-	580
■ 経常利益	2,688	4.5%	3,070	4.3%	381	3,580	5.1%	891	33.2%	-	510
■ 当期純利益	2,347	3.9%	2,200	3.1%	△ 147	2,450	3.5%	102	4.4%	-	250
為替レート (期中平均)	米ドル 112.38円	-	134.49円	-	22.11円	135.48円	-	23.10円	20.6%	-	0.99円
	ユーロ 130.56円	-	136.86円	-	6.30円	140.85円	-	10.29円	7.9%	-	3.99円



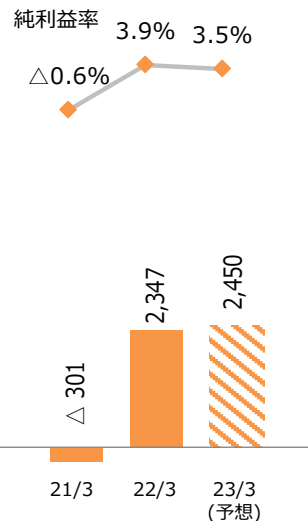
売上高



営業利益



経常利益



当期純利益

■ 連結業績予想の前提

① 売上高

- 部材調達難による影響が一部で継続するものの、輸送リードタイム長期化は解消方向
- 製品ラインナップ及び販売活動の強化に取り組むものの、欧米等における景気減速により顧客の稼働率低下に伴いインクを中心に需要減少を見込むことから、前回予想を下方修正

② 営業利益

- 部材・エネルギーコスト等の高騰影響を受ける見通しに変更なし
- 販売価格見直し、輸送コスト減少、高粗利率のプリンタ本体新製品の販売拡大に伴う機種ミスク良化等による売上原価率の改善を見込み、3Qまでの進捗状況も踏まえ、前回予想を上方修正

③ 4Q為替レート前提は、USD:132.33円(前回135.00円)/EUR:141.61円(同135.00円)で設定

- ## ■ 「Mimaki V10」で定めた2025年度までに営業利益率10%達成の目標は堅持しつつ、地政学的なリスクへの対応に万全を期すとともに、2023年度の事業拡大に向けた施策を定め、全社一丸となって取り組む

営業利益増減要因

(22/3期 実績 vs 23/3期 予想)



(単位：百万円)

【通貨別影響額】

USD	112.38円	→	135.48円	+1,367
EUR	130.56円	→	140.85円	+731
CNY	17.51円	→	19.77円	△714
TRY	11.23円	→	7.65円	△361
BRL	21.11円	→	26.29円	+283
その他 (AUD、IDR等)				+471
合計				+1,777

<為替感応度 (1円/年)>

	売上高	営業利益
USD	136	59
EUR	115	71

【売上原価率増減の要因】

主に部品・原材料高騰の影響を見込む一方、輸送コストは徐々に減少する方向

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高5,352 - 売上原価2,317 - 販管費1,257 = 営業利益1,777

① 為替影響

② 売上高増減影響

③ 売上原価率増減影響

④ 販管費増減影響

1,777

2,057

△730

△1,674

4,000

売上原価率

59.9%

↓

61.1%

(+1.2pt)

販管费率

35.8%

↓

35.5%

(△0.3pt)

営業利益
(22/3期)

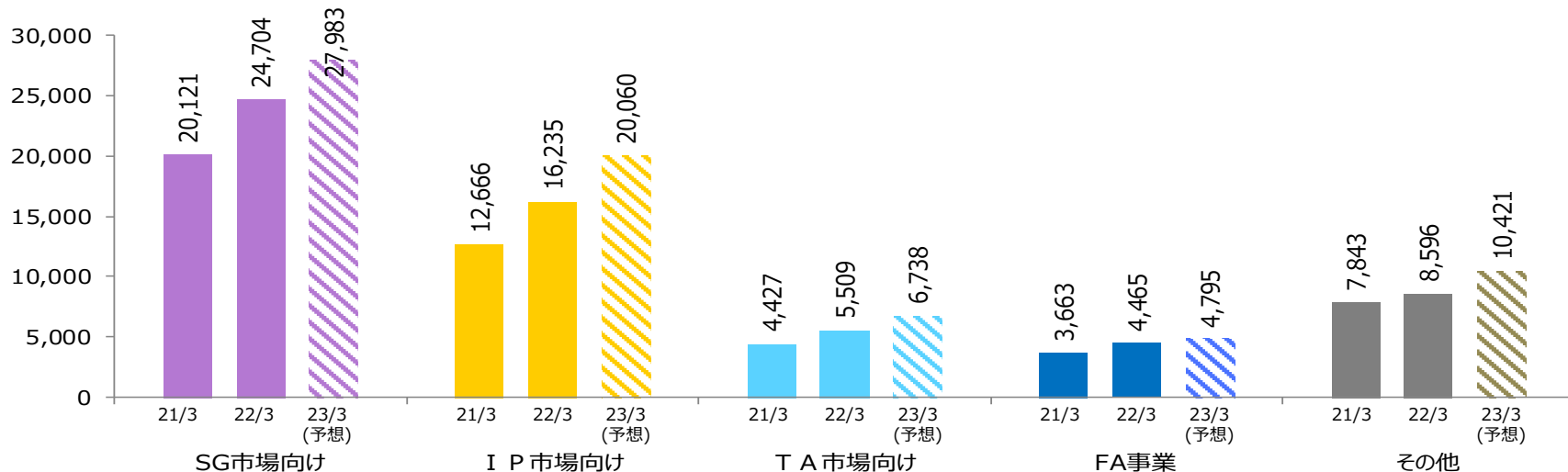
営業利益 14億30百万円

営業利益
(23/3期)

市場別売上高予想 (2023年3月期)



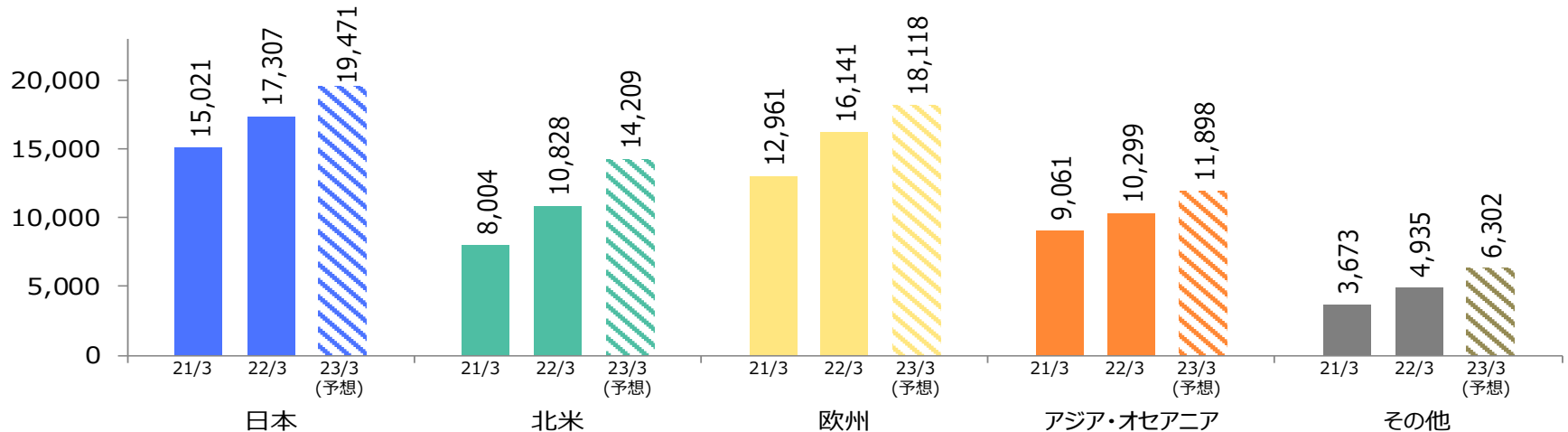
(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期							
	通期実績	構成比率	通期 前回予想	前期比 増減額	通期 修正予想	前期比増減			構成比率	前回予想比 増減額
						金額	率	率(除為替)		
SG市場向け	24,704	41.5%	29,611	4,906	27,983	3,279	13.3%	2.8%	40.0%	△ 1,627
IP市場向け	16,235	27.3%	20,025	3,789	20,060	3,825	23.6%	13.7%	28.7%	35
TA市場向け	5,509	9.3%	7,161	1,652	6,738	1,229	22.3%	11.0%	9.6%	△ 422
FA事業	4,465	7.5%	5,131	665	4,795	329	7.4%	7.4%	6.9%	△ 336
その他	8,596	14.4%	9,871	1,274	10,421	1,824	21.2%	-	14.9%	550
合計	59,511	100.0%	71,800	12,288	70,000	10,488	17.6%	8.6%	100.0%	△ 1,800



エリア別売上高予想 (2023年3月期)



(単位: 百万円)	2022年3月期		2023年3月期						
	通期実績	構成比率	通期 前回予想	前期比 増減額	通期 修正予想	前期比増減		構成比率	前回予想比 増減額
						金額	率		
■ 日本	17,307	29.1%	19,105	1,798	19,471	2,163	12.5%	27.8%	365
■ 北米 (現地通貨 / \$)	10,828	18.2%	15,090	4,261	14,209	3,380	31.2%	20.3%	△ 880
	96.3M	-	112.2M	15.8M	104.8M	8.5M	8.8%	-	△ 7.4M
■ 欧州 (現地通貨 / €)	16,141	27.1%	18,683	2,542	18,118	1,976	12.2%	25.9%	△ 565
	123.6M	-	136.5M	12.8M	128.6M	4.9M	4.0%	-	△ 7.9M
■ アジア・オセアニア	10,299	17.3%	12,430	2,131	11,898	1,599	15.5%	17.0%	△ 531
■ その他	4,935	8.3%	6,489	1,554	6,302	1,367	27.7%	9.0%	△ 186
合計	59,511	100.0%	71,800	12,288	70,000	10,488	17.6%	100.0%	△ 1,800

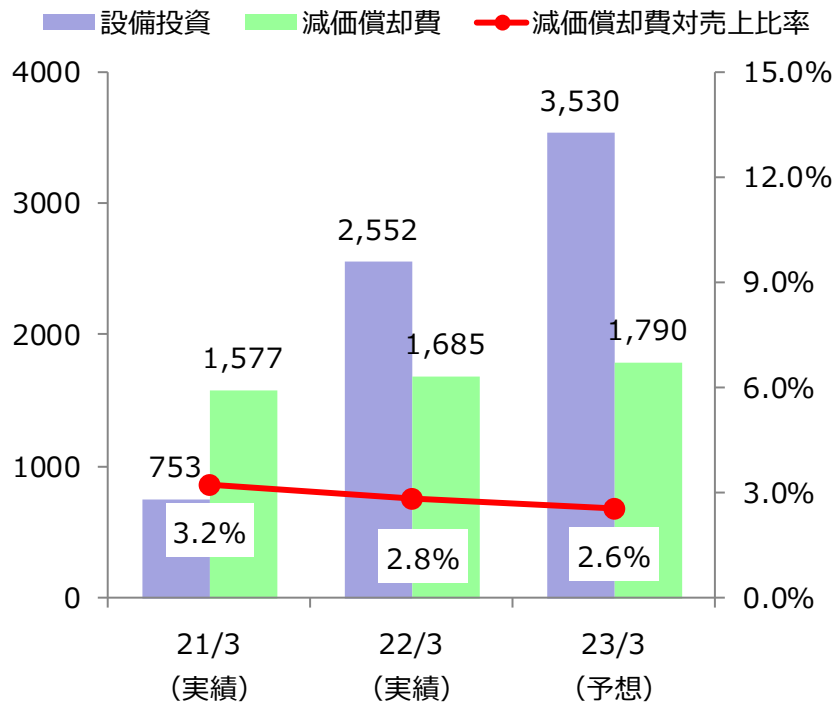


設備投資、減価償却、開発投資予想

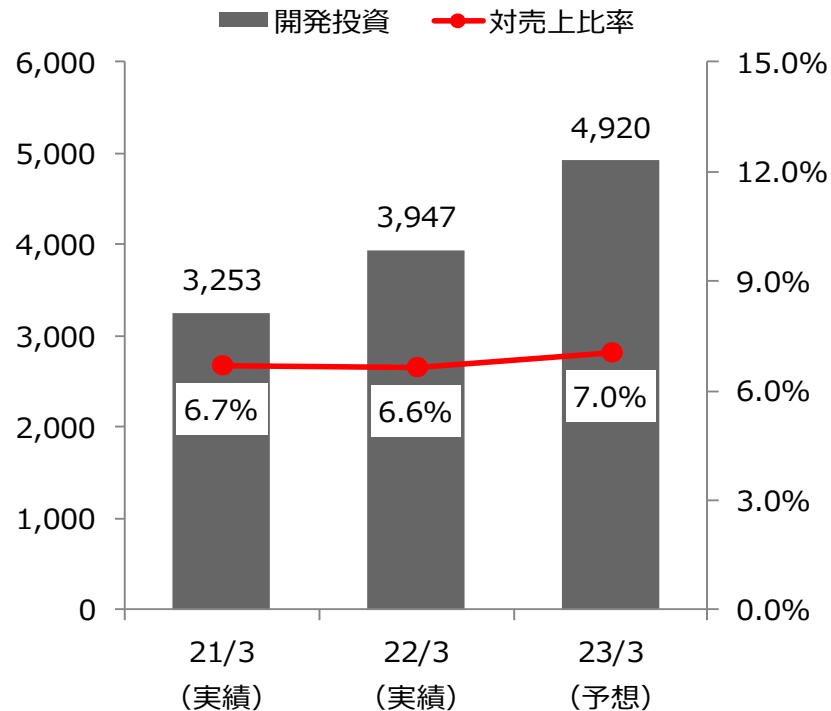
(2023年3月期)



(百万円)



(百万円)



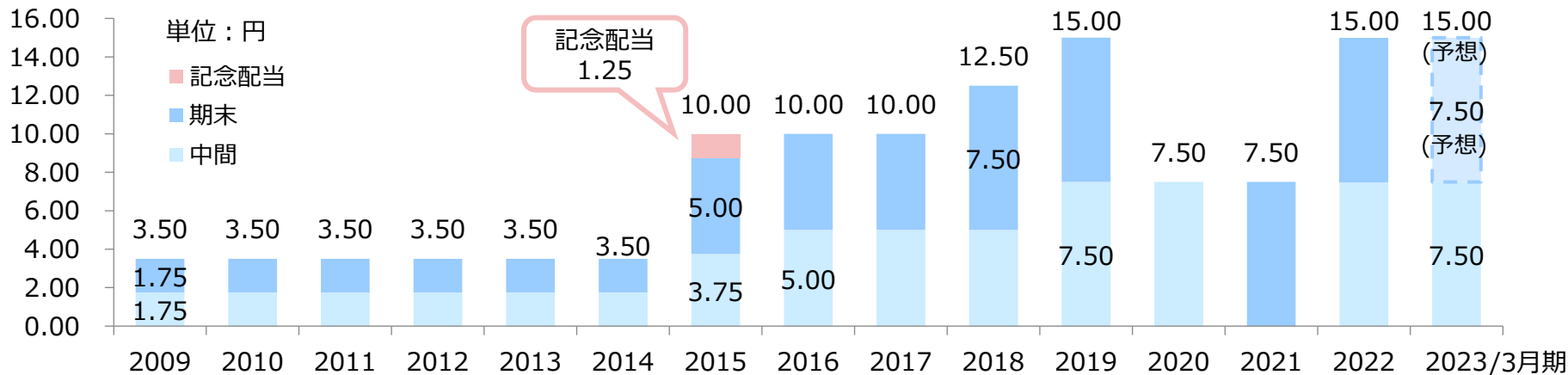
※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

株主還元

株主還元の方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

- 2022年3月期 中間：7.5円、 期末：7.5円
業績の回復状況及び安定的・継続的な株主還元方針に基づき、年15.0円を配当
- 2023年3月期 中間：7.5円、 期末(予想)：7.5円
当期の事業見通し及び安定的・継続的な株主還元方針を総合的に勘案し、年15.0円配当を予想



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものであります

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております（分割前の配当金は遡及修正して表示）

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

TEL (本社) 0268(80)0058

TEL (東京) 03(6362)4290

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。